

「こんな大人になりたい」と思える人と出合いを

若手事業者から



学生に竹野地域で観光に関わる楽しさを伝える非常勤講師たち―豊岡市竹野町竹野

但馬技術大学校総合ビジネス学科

但馬技術大学校（豊岡市九日市上町）に昨年開設された、総合ビジネス学科の目玉の一つ「観光概論」の課外授業が8日、豊岡市竹野町の竹野浜周辺であった。同学科の19人が参加し、竹野地区で観光業に関わる若手事業者ら4人から、竹野地域の魅力や観光業の面白さを学んだ。

（阿部江利）

竹野の魅力学ぶ

同学科は1年制。事務職として、但馬地域の企業などで活躍できる人材を育てようとする。昨年度の1期生は7人全員が地元で就職。今春入った2期生は、高校の新卒者ら20人で、デザインや税務、秘書業務などを学んでいる。

概論は、但馬で活躍する経営者ら13人を非常勤講師に迎え、学生も現場に出て地域の声に触れるなどしている。講義を取りまとめるコンサルタントの今井裕子さん(49)は「若い人たちが『こんな大人になりたい』と思える人と出会える場になりたい」とする。

この日は、同地域で観光

に携わる20、30代の若手3人が講師に。午前は、元地域おこし協力隊員の石丸佳佑さん(26)が自ら営むゲストハウス「ひととまる」などを案内。午後は活動紹介やパネル討論に臨んだ。

同市出石町出身のダイビ

ンクインストラクター・田中美紀さん(29)は、大学で地元を離れたが、東日本大震災で内定企業の入社が延びて帰省した時、初めて経験したダイビングで海の美しさに引かれて就職を辞退したエピソードを紹介。たけの観光協会で働く服部恵山さん(35)も、海上アスレチックや黒い焼き杉板のある町並みを残す取り組みなどを紹介した上で「もっと魅力を発信していくことが重要。みんなもやりたいことを伝えて」と力説した。

「観光概論」に学生19人

討論では、講師らが「仕事や思いを支えてくれる人がいるから、但馬なら大丈夫。なるようになるよ」などとエールを送った。受講した豊岡市の田原辰之介さん(18)は「観光と言えは都会に目が行きがちだが、但馬を詳しく知るほど、都会には無い特有の魅力があると改めて感じる。地元の良いことも大変なことも、両方聞けて良かった」と話した。